(政経315ワークノート)『高等学校 新政治・経済 新訂版 ワークノート』 (2023年2月15日 第6刷発行)

以下の通り、当該書籍の内容を訂正していただくよう、お願い申し上げます。 謹んでお詫び申し上げますとともに、ご訂正のうえご指導くださいますようお願い申し上げます。 (2023.6)

ページ	箇所	(誤)	(正)
本体20 解答 4	5. ⑭不文憲法		② <u>一つの法典としてまとめられた憲法は</u> 存在しないため、憲法改正の考え方も存在しない。
		④重要な法律や政治的慣例の改 正が, <u>憲法改正の手続きと同様</u> の手続きで実施されている。	④ <u>憲法に相当する</u> 重要な法律や 政治的慣例の改正が、 <u>実質的に</u> 憲法の改正として行われてい る。
	解答 4 右段 ⑭	重要な法律等が憲法の役割を果たしていることと、それらの法律の改正については、通常の法律の改正手続きが整備されていることから	重要な法律等が憲法の役割を果たしており、それらの法律については改正手続きが整備されていることから
本体44	問題 10	最高裁判所は生存権について, 「国民の具体的権利を <u>保障した</u> ものである」という判断(プロ グラム規定説)を示している。	最高裁判所は生存権について, 「国民の具体的権利を <u>保障した</u> ものではない」という判断(プログラム規定説)を示している。